



おおあし

第10号

《 大芦小HP <https://oashi-e-konosu.edumap.jp/> 検索 》

非効率的であっても

年度末が近づき、今年度の成果と課題を踏まえ来年度の計画を立てる時期となりました。「不易」と「流行」という言葉をよく耳にします。企業の経営者をはじめリーダーは、既成概念にとらわれず、変化の方向や流れをいち早くつかみ取り、新しくよりよい方法に取り組もうとする先見性が求められます。時代を的確に読み成功を収めた例が紹介されると、改めてその手法や手腕に感心することもあります。そんなリーダー像に私自身も憧れますが、この1年を振り返ってみますと、「まずは大芦小の良き伝統の継承」を重んじるどころから始めたこともあり、「流行」を的確に捉えた変革をしようと本腰をあげていないのでは、現状維持を保つことだけだったのではと、まだまだ保守的な考えが占めているのだと思います。

「漢字を覚えさせるために何度もノートに書く学習方法は非効率的である。」という意見も聞きます。本校でもこのような方法で宿題を課す学級もあると思います。確かにたくさん書いていくにつれて、漢字を覚えるのではなくただ「書く」という作業が目的になってしまうとも考えられるため、もっと効果的に行うための改善や指導は必要でしょう。しかし、それをきちんと覚えようと一生懸命何度もノートに書いてきたものは立派な成果物となり、決して無駄なものになるとは思いません。方法としては非効率的であったとしても、もっといい方法があるんだよと言われたとしても、意義のあるものだったと思います。特に、「ノートに書いて覚える」その学習方法が確立できていない低学年の児童に対しては、「明日までにこの漢字を覚えてきなさい。」とただやみくもに伝えるだけではあまりにもぶっきらぼうです。いずれにしても読み書きができるよう基礎・基本を確実に身につけさせることが「不易」なことであり、一番大切なこととなります。

では、基礎・基本さえできていればよいのでしょうか。私は小学校入学と同時にそろばん塾に通い始めました。ですから2年生で習う九九の学習前には、すでに流暢に言えるまでになっていたのに、改めて九九を教わらなくても大丈夫な状況でした。しかし、授業の中で、かけ算は答えが同じでも、 2×3 と 3×2 ではその意味は違うのだということを教わりました。そろばんの学習だけを考えれば、答えだけ分かれば問題はないのですが、かけ算にはこのような意味があるという数学的な考え方を学ぶことも大切なこととなります。考えをより豊かにしたり、興味をもち探求し続けたりするような学習本来の楽しさにも気づくこととなるでしょう。

流行を追うと効果的で効率的な学習に出会い、子どもたちにとっても先見的で意義のあるものも多数あると思います。しかし、非効率的で一見無駄だと思われる中にも、意義があるものもあるのではとも思うのです。書き順や止めやはらいなど、正確にできていなくても将来的には大きな問題はないかもしれません。また、徒競走や持久走大会で順位を競わせるのも賛否がありますが、目的を明確にして競わせれば効果的になる場合もあります。教育の目的である、人格の完成を目指し、これから社会で生きていくために必要な資質を備えさせるための手段は、今までの方法の中にもたくさんあるはずです。2月臨時号として発行した学校評価結果のご意見も踏まえつつ、教育における

「不易」の重要性を念頭に置き、「時代の変化とともに変えていく必要がある」改革が少しずつ進められるよう尽力して参ります。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。(校長 横尾 臣)